

豪中銀、新型肺炎を受け政策金利を 0.5% に引き下げ

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・ RBA は 3 月 3 日に、政策金利を 0.25% 引き下げ、史上最低の 0.50% とした
- ・ 次回以降の追加緩和が示唆されたが、利下げ余地は極めて小さく、財政出動等への期待が高まる
- ・ 豪ドルにとって、感染ペースの鈍化や主要国の協調的政策対応による世界株価・資源価格の上昇が反発の鍵

RBA、新型コロナウイルス感染拡大の影響に対応

- ✓ 3 月 3 日、豪準備銀行 (RBA) は理事会で政策金利 (キャッシュレート) を 0.75% から 0.50% に変更しました。昨年 10 月の会合以来、今年初めての利下げとなり、史上最低の金利水準となりました。
- ✓ 声明文には、今回の利下げの根拠として、「新型コロナウイルス感染拡大により世界経済見通しが悪化したこと」、「豪州経済が既に教育、旅行セクターを中心に著しい悪影響を受けており、豪州の 1Q GDP 成長率が従来の想定よりも大幅に悪化する見通しであること」などの経済認識が記載されました。
- ✓ 更に RBA は声明文において、労働市場への言及を削り、インフレ率に関する段落を全て削除しました。国内事情より世界的な新型コロナウイルス感染拡大への対応姿勢を強調したと見られます。
- ✓ また、先行きの金融政策に関しては、「豪州経済を支援するため、金融政策をさらに緩和する用意がある」とし、前月までの「必要ならば」という文言を削除したことにより、次回会合での追加緩和を示唆した点で、従来よりもハト派化したと市場では受け止められました。

利下げへの思惑が先行、豪ドルの反応は限定的

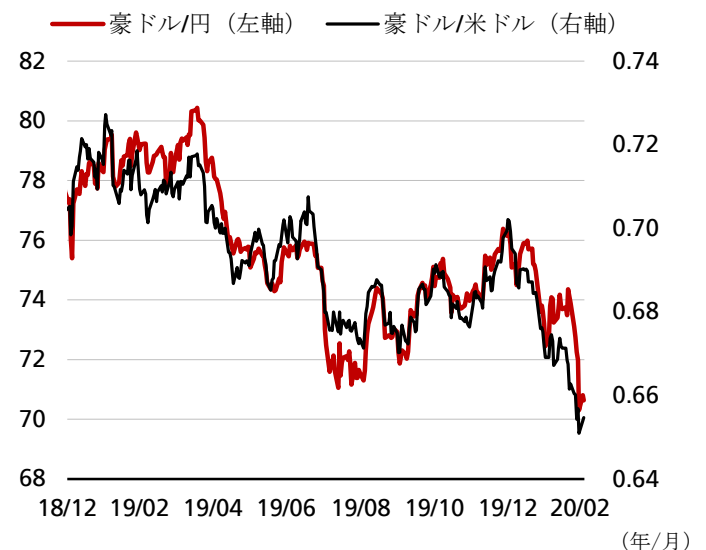
- ✓ 市場では、1 月の豪州の失業率悪化や新型コロナウイルス感染拡大をうけた世界株価、資源価格の下落を背景に、2 月末に豪ドルは対米ドルで 11 年ぶりの安値を付け、更に金利市場では 5 月までに 2 回の利下げを織り込んだ状態だったため、利下げ後の豪ドルへの影響は限定的でした。

■豪ドル相場の年初来の推移

(2018 年 12 月 30 日～2020 年 3 月 3 日 PM5 時)

(円)

(米ドル)



今後のオーストラリア経済・豪ドルの見通し

- ✓ 世界的なコロナウイルス感染拡大を背景に豪州経済に悪影響が出ているだけでなく、世界の経済見通しの悪化が懸念される中で、主要国政策当局の協調的な政策対応の一環という側面も加わって、**RBA** の追加緩和観測は継続すると見られます。
- ✓ 一方、今回の利下げで **RBA** は、ロウ総裁が明言している実効下限制約である **0.25%** まで、後一回の利下げ余地しかない状態です。こうしたなか、最後の追加利下げを機械的に行う可能性は低いと思われます。
- ✓ 金融緩和の余地が極めて縮小したため、今後は豪州政府の経済政策の軸足は余力が残る財政政策に期待が向けられる可能性があります。**RBA** の理事会に先立ち、モリソン豪首相は「豪政府と **RBA** はコロナウイルスへの対応で強く連携する」と述べており、今後は中銀と政府一体で豪経済をサポートしていくと予想されます。
- ✓ 豪州にとっての朗報は、中国本土でコロナウイルスの感染が足元鈍化傾向となっていることでしょう。感染のピークアウトや主要国の協調的政策対応が本格化し、世界株価・資源価格の反発となった場合は、先行して売られてきた豪ドルには相応の反発が期待できると考えます。

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号：UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 412 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報をもとに **UBS** アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© **UBS** 2020. キーシンボル及び **UBS** の各標章は、**UBS** の登録又は未登録商標です。**UBS** は全ての権利を留保します。